

① Bigen ビゲン ポンプカラー

使用説明書

▲ 薬剤が目に入らないように注意
目の中に薬剤が入ると強い刺激を受けたり、炎症をおこすことがあります。

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

?
本品に限らず、ヘアカラーでかぶれの症状がでたことはありませんか？

YES
絶対にヘアカラーをしないでください

かぶれの典型的な症状

- ① 染毛の半日後くらいからかゆみを感じ、はれ・赤み・ブツブツ等が出始め、染毛の48時間後に最もひどくなる。
- ② 使用のたびにかゆみを感じる。

かぶれの症状が軽かった場合も、**繰り返し使用すると次第に症状が重くなり、まれに重いアレルギー反応***が突然起こることがあります。
(*全身じんま疹、呼吸困難等)

NO
毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）をしてください

この面の「皮膚アレルギー試験の手順」をよく読んでください。

より詳しい情報はこちら

●ヘアカラーによる**かぶれの情報**
●かぶれた方への**代わりの商品紹介**

ホームー パッチテスト 検索

www.hoyu.co.jp/startup/patch_test.html

商品に関するお問い合わせ・ご相談はこちら

お客様相談室
0120-416-229
土・日・祝日及び弊社休業日を除く
午前9時～午後5時

hoyu ホーユー株式会社
〒461-8650 名古屋市中区徳川一丁目501

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪を生え際・顔・首筋等に、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツ等の症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかず、又はかぶれの症状が軽いため使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重いアレルギー反応（全身じんま疹、呼吸困難など）等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

▲ 使用上のご注意

1 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らず**ヘアカラーでかぶれたことのある方**
- ② **染毛中または直後に、じんま疹（かゆみ、発疹、発赤）あるいは気分の悪さ（息苦しさ、めまい等）を経験したことのある方**
- ③ **皮膚アレルギー試験（パッチテスト）の結果、皮膚に異常を感じた方**
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方（病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等）
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方（微熱、けん怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等）

2 使用前のご注意

- ① **染毛の2日前（48時間前）には、右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）を行ってください。**
パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト薬剤塗布後30分くらいおよび48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪をいためたり、色落ちしたりすることがあります。

3 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、ただちに使用してください。
- ② 換気の良い所で使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、ただちに水で洗い落としてください。

6 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。

- 目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷（角膜の炎症等）を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、ただちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
 - ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあります。

5 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

他に守っていただきたいこと

- ① 幼児には使用しないでください。
- ② 公衆浴場等でのご使用は、ご遠慮ください。
- ③ **薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁、洗面台、鏡等に付着すると色が落ちませんので、充分ご注意ください。**
- ④ パーマントウェーブをかけた髪にヘアカラーをすると、ウェーブが緩むことがありますので、ご注意ください。

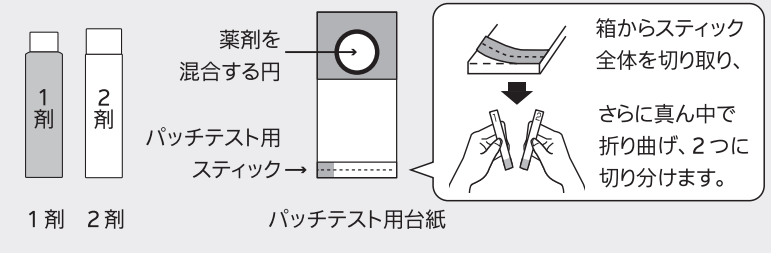
使用後のご注意

- ① 次のような場合は、衣類、帽子、枕カバー等に色移りすることがありますので、ご注意ください。
 - 髪がぬれているとき（汗をかく、雨にぬれる、洗髪後等）。
 - 整髪料や育毛剤等を多量に使用したとき。
 - ヘアカラー後のすすぎ等が不十分なとき。
- ② 再度ヘアカラー（ヘアマニキュアを除く）を使用する場合は、髪や地肌への負担を考え、1週間くらいの間隔をおいてください。
- ③ 暗めに染まった髪色を1回で明るく染め変えることは困難です。次回から、明るめの色（今回より小さい番号）を使用し、徐々に明るくしていきます。

皮膚アレルギー試験（パッチテスト）の手順

毎回必ず、染める**2日前（48時間前）**にパッチテストをしてください。

1 次のものを準備します



2 パッチテスト用の混合液をつくります

- ① 1剤用スティックにつたわせて、1剤をごく少量パッチテスト用台紙の円の上に出します。
※薬剤が大量に出ないように、ゆっくり出します。
- ② 2剤用スティックにつたわせて、2剤を1剤と同量出します。
- ③ 2剤用スティックで混ぜ合わせます。

3 腕の内側にぬって48時間放置します

- ① 混合液を、パッチテスト用スティックで腕の内側に10円硬貨大にうすくぬります。
- ② 自然に乾燥させ、そのまま触れずに48時間放置します。
※時間を必ず守ってください。

4 30分後と48時間後の2回、テスト部位を観察します

塗布部に**発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等**、皮膚の異常があった場合には、手等でこすらないでただちに洗い落とし、ヘアカラーはしないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、ただちにテストを中止し、混合液を洗い落とし、ヘアカラーはしないでください。

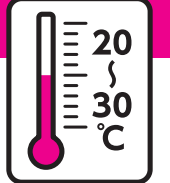
5 48時間経過後、異常がなければヘアカラーをしてください

※異常があった場合は皮膚科医の診療を受けてください。
また、製品についてはお客様相談室までご連絡ください。
※パッチテストの汚れが残っても、通常の入浴によって、自然に落ちていきます。

ご使用前の準備

重要 薬剤が冷えすぎると、泡になりません。

混合前に、薬剤を室温**20～30℃**の場所に**1時間以上**置いてからご使用ください。

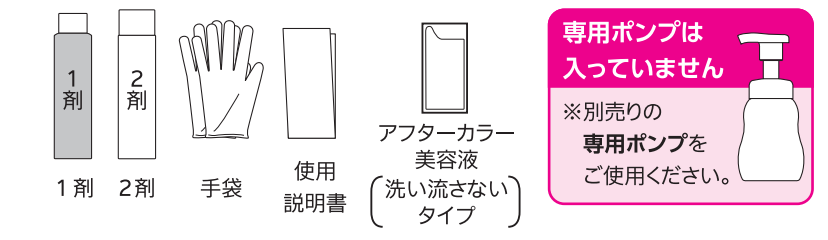


注意 ●寒い所では染まりにくいので、室温が20～30℃の場所でお使いください。
※低温時、薬剤が濁ることがありますが、品質には問題ありません。

- 乾いた髪に使用し、染毛中の入浴は避けてください。
- 髪のからまりを防ぐために、必ず髪をとかしてください。
- シャンプーは、なるべく染める前日までに済ませてください。髪の汚れがひどいとき、整髪料を多めに使用しているとき、一時着色料や金属粉等が髪についているときは、十分に洗い流してください。
※特に、ヘアスプレーや洗い流さないトリートメントを多く使用している、液だれするおそれがあります。

[やむをえず、染める当日にシャンプーする場合]
○地肌を傷つけないように、ていねいに洗ってください。
○髪をよく乾かしてください。髪がぬれていると、薬剤がたれたり、染まりが悪くなる場合があります。

1 必要なものをそろえます



- ご自分で用意するもの
- 時計
 - 新聞紙等の敷物
 - 化粧ケープかタオル
 - 水をはじく油性クリーム
 - 鏡
 - ティッシュペーパー等
 - 汚れてもかまわないタオル
 - シャンプーとリンスまたはコンディショナー（ビゲントリートメントシャンプー・リンス等）

便利なグッズは、オンラインショップでご購入できます。
ホームー サポートグッズ 検索

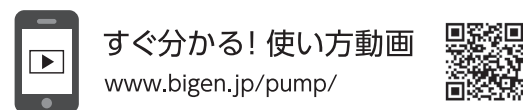
2 汚れ対策をします

- ① 汚れてもかまわない**前あきの衣服**を着てください。
- ② **化粧ケープかタオル**で衣服をガードします。
※たれ落ちたときの**ために、汚れてもかまわないタオルを、さらに肩や首に巻く**ことをおすすめします。
- ③ **水をはじく油性クリーム**を生え際、耳のまわり、えりあし、腕等にぬります。薬剤が皮膚についても落としやすくなります。
※ただし、油性クリームが髪につくと染毛効果が弱くなり、また液だれの原因となりますので、ご注意ください。
- ④ メガネ、コンタクトレンズやアクセサリ等をはずします。
- ⑤ **新聞紙等**を、床や洗面台等に敷いてください。

皮膚が着色した場合

- 強くこすると炎症や傷の原因になりますので、ご注意ください。**
- 汚れた部分にメイク落としをなじませ、しばらくの間、軽くマッサージをします。次に、蒸しタオルをあてた後、石けんで洗い流します。石けんをタオルにつけて軽くこするのでも効果的です。
- 汚れが残っても、洗髪や入浴によって、数日程度で自然に落ちます。

ご使用の手順

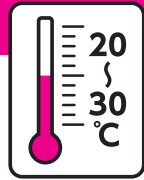


すぐ分かる! 使い方動画
www.bigen.jp/pump/

ご使用前に必ず**反対の面**もお読みください。

重要 薬剤が冷えすぎると、泡になりません。

混合前に、薬剤を室温20~30℃の場所に1時間以上置いてからご使用ください。



注意

●薬剤が目絶対に入らないようご注意ください。汗をかくと、薬剤がたれて目に入るおそれがあります。高温・多湿の場所(お風呂等)では染毛しないでください。

●染める2日前(48時間前)に毎回必ず、皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

●寒い所では染まりにくいので、室温が20~30℃の場所でお使いください。

目に入ったときは絶対にこすらないで、ただちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。



ムラなくキレイに染めるコツ

髪全体に泡をたっぷりぬり、もみ込みます。

※もみ込むとクリーム状になります。



1 混合液をつくります

1 専用ポンプに1剤・2剤を全量入れて、ポンプをしめます。



注意

●使い切りタイプなので、1剤・2剤は、分割使用できません。残した1剤・2剤は、染毛効果が弱くなります。

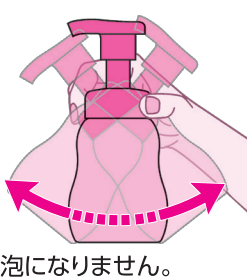
●混合液をつくったらすぐにぬり始め、30分以内にぬり終えてください。時間がたつと徐々に染毛効果が弱くなります。

●混合液の色は仕上がりの色とは異なります。

重要 泡立たないように、左右にしっかり振ります。

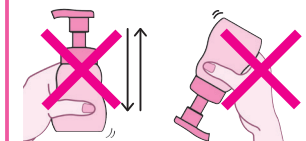
10~15回 振る

※振りが弱いと、薬剤が混ざらないため、泡になりません。



注意

上下に振ったり、逆さにしないでください。



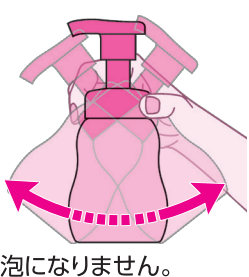
専用ポンプの中で泡立ち、きれいな泡にならなかったり、飛び散るおそれがあります。

2

重要 泡立たないように、左右にしっかり振ります。

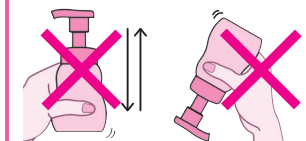
10~15回 振る

※振りが弱いと、薬剤が混ざらないため、泡になりません。



注意

上下に振ったり、逆さにしないでください。



専用ポンプの中で泡立ち、きれいな泡にならなかったり、飛び散るおそれがあります。

2 乾いた髪に泡をぬります

ぬる時間 10分

1 手袋をはめ、ポンプをしっかり押し、適量の泡を手に出します。

注意 飛び散りにご注意ください。ノズルを手で覆うようにして、出してください。

- 新聞紙等を敷いてください。
- 箱の裏側のミシン目にそって穴をあけ、専用ポンプを置くと、安定して便利です。



2~3プッシュが目安

2 白髪が目立つ部分から順に、根元にしっかり泡をぬります。

分け目



分け目をざっくり変えながら

使用量の目安 ※使用量が少ないと十分に染まりません。

セミロングヘアの方 → 全量 (肩につく程度)

ショートヘアの方 → 専用ポンプの目安線まで

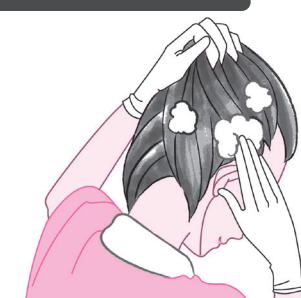


後頭部



縦に分けてぬり、毛先までのばす

耳の後ろ・えりあし



髪を持ち上げるようにぬる

生え際



手のひらの泡を指先にとってぬる

注意 ●飛び散りにご注意ください。後頭部をぬるときや、混合液の残りが少なくなると、飛び散りやすくなります。

●薬剤をぬった前髪がたれて目に入らないようご注意ください。

●薬剤があまり地肌につかないようにしてください。

●薬剤が肌についたときや、たれてきたときは、水でしめらせたティッシュペーパー等ですぐにふき取ってください。

3 髪全体にたっぷりぬり足し、もみ込んでしっかりなじませます。

もみ込むとクリーム状になります。



※使用量が少ないと十分に染まりません。

4 白髪が気になる部分にもう一度ぬり足します。



注意

- 強くこすったり、激しくもみ込んだりしないでください。頭皮や地肌をいためたり、髪がからまる場合があります。
- クシ等で髪をとかささないでください。たれ落ちや飛び散りのおそれがあります。

※写真はイメージです。薬剤の色は紫色や褐色等になります。

3 放置します

放置時間 20分

20分ほど放置します。

- 太くて硬い髪の方、白髪の多い方は、5分ほど長く放置してください。
- ※長く放置すぎないでください。髪が希望の色にならなかったり、髪や地肌をいためるおそれがあります。
- 薬剤が肌についていないか確認してください。

注意 ●ラップやヘアキャップをつけないでください。汗をかくと、薬剤が目に入るおそれがあります。



●残った混合液は必ずすぐに洗い流してください。放置しておくと、ガスが発生して容器が破裂したり、混合液があふれ出るおそれがあります。

4 洗い流します

1 よくすすぎ、シャンプーを2回します。コンディショナー等をして洗い流し、タオルで水気をよくふき取ります。

※汚れてもかまわないタオルでふいてください。

注意 ●すすぎ湯が目に入らないよう、特にご注意ください。

●すすぎ湯が壁や浴槽等につくと汚れが取れない場合がありますので、充分ご注意ください。

2 添付のアフターカラー美容液を少量ずつ手に取り髪全体になじませ、よく乾かして仕上げます。

※洗い流す必要はありません。



専用ポンプはくり返し使用できます。洗淨・保管してください。

容器・ポンプの洗淨方法

① ポンプを取りはずし、容器をよく洗います。

注意 ●ポンプは分解しないでください。次回使えなくなるおそれがあります。



② ポンプを洗います。

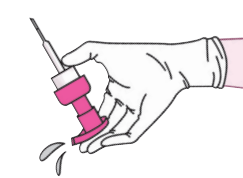
外側を洗う → 内側を洗う → 内側の水を切る



ポンプを押さずに、外側を水洗いします。



容器を立ててポンプを押す。容器に約半量の水を入れてポンプをしめ、20~30回ポンプを押します。水を入れ替えて、2回ほどくり返します。



ポンプを取りはずし、必ず逆さにして数回押し、内側の水をしっかり切り取ります。※内側に水が残ると、次回使用時、水が飛び出るおそれがあります。

③ よく乾かして保管します。

ポンプをはずしたまま、新聞紙等の上に置いて乾かします。

注意 ●必ず新聞紙等の上に置いて乾かしてください。汚れた水がたれるおそれがあります。

